記録書 No.27 (2015年5月15日~2015年6月11日)

2015年6月12日 乃村研究室 M1 藤田 将輝

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項	
(1) 特になし	
1. 実績	
1.1 研究関連	
(1) 研究テーマに関する項目	
(A) 参考文献の読解	$(50\ \mbox{\%}\ \mbox{,}\ +0\ \mbox{\%})$
(B) 使用する共有メモリ領域の検討	$(75\ \mbox{\%}\ \mbox{,}\ +0\ \mbox{\%})$
(C) NICのデバイスドライバの改変箇所の調査	(50% , $+0%)$
(D) パケット受信処理の実装	$(65\ \%\ $, $+5\ \%)$
(2) 開発に関する項目	
(A) 自動ビルドスクリプトの作成	$(95\ \%\ $, $+0\ \%)$
(3) 第 20 回 New 開発打ち合わせ	(5/15)
(4) 第 276 回 New 打ち合わせ	(5/26)
(5) 第 21 回 New 開発打ち合わせ	(6/01)
(6) 第 277 回 New 開発打ち合わせ	(6/10)
1.2 研究室関連	
(1) 全体ミーティング	(5/15)
(2) 平成 27 年度第1回研究室内部屋別対抗ボウリング大会	(5/15)
(3) 乃村研ミーティング	(6/1)
1.3 大学院関連	

(1) 特になし

- 2. 詳細および反省・感想
- 2.1 研究関連
- (1D) NICの動作の再現する機構を実現している.この機構の中のパケットを作成する機能を作成している.Etherフレームが作成される処理流れを調査し,調査した処理流れを参考にパケットを作成する.作成したパケットを Mint の共有メモリに配置し,一方の OS から他方の OS へ任意のタイミングで割り込みを発生させることにより,作成したパケットを処理させる.
- 3. 今後の予定
- 3.1 研究関連
 - (1) 研究テーマに関する項目

(A) 参考文献の読解	(6月下旬)
-------------	--------

(B) 使用する共有メモリ領域の検討 (6月下旬)

(C) NIC **のデバイスドライバの改変箇所の調査** (7月中旬)

(D) **パケット受信処理の実装** (6 月下旬)

(2) 開発に関する項目

(A) 自動ビルドスクリプトの作成 (7月中旬)

(3) 第 22 回 New 開発打ち合わせ (6/15)

(4) 第 278 回 New 開発打ち合わせ (6/22)

3.2 研究室関連

(1) 全体ミーティング (6/12)

(2) 乃村研ミーティング (6/22)

(3) M2 論文紹介 (6/26)

- 3.3 大学院関連
 - (1) 特になし